



令和5年度 看護力向上支援事業報告 皮膚・排泄ケア認定看護師の支援を受けて



令和5年12月13日（水）

医療法人社団敬愛会 福島南循環器科病院

渡邊令子・手塚翠

問題点は、何か

- スキン - テアに関する勉強会の機会がない
- 日々のスキンケアが出来ていない
- スキン - テア発生時の対処方法にばらつきがある
- 知識が不足している

目標

- スキン - テアの原因・予防と対処方法についての理解を深める
- 各スタッフが皮膚状態をアセスメントしスキン - テアの予防策をとることが出来る
- スキン - テア発生時の対処方法、処置の統一化を図ることが出来る

支援・研修内容

第1回 8月7日（月）	ラウンド 研修会「褥瘡対策について」
第2回 8月21日（月）	ラウンド 研修会「褥瘡管理のポイント 皮膚の構造、スキンケア、褥瘡管理のポイント」
第3回 9月4日（月）	ラウンド 研修会「褥瘡予防 スキン・ケアについて おむつの当て方について 失禁関連皮膚炎」
第4回 10月19日（木）	ラウンド 褥瘡回診 研修会「ストーマケアについて」
第5回 11月6日（月）	ラウンド 研修会「症例報告」

病棟活動

支援日	8月7日	8月21日	9月4日	10月19日	11月6日
A氏 右手背にスキン - テア発生	<ul style="list-style-type: none"> ・皮弁戻す ・圧迫止血 ・洗浄 ・プロペト、メロリン保護 	<p>改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄 ・プロペト、メロリン保護 	<p>治癒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロペト、メロリン保護 	—————→	—————→
B氏 気切口に発赤、びらん	<p>汚れが原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泡洗浄 ・プロペト塗布 	<p>改善</p> <p>—————→</p>	—————→	—————→	—————→
C氏 右腓腹部褥瘡 (ポジショニングによる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポジショニングの検討 ・硬い壊死組織あり ・ゲーベン、メロリン保護 	<p>時間体交追加</p> <p>柔らかい壊死組織 デブリまたは乱切 助言あり</p> <p>—————→</p>	<p>8月24日医師によるデブリ</p> <p>改善</p> <p>—————→</p>	<p><褥瘡回診> 白色壊死組織の除去</p> <p>改善</p> <p>プロペト+メロリン処置へ変更</p>	<p>改善</p> <p>—————→</p>

処置前



2週間後





消火器
FIRE EXTINGUISHER

使用方法 TO OPERATE

- 

1 安全栓を引抜く
Pull the pin out.
- 

2 ノズルを炎先に向ける
Point the nozzle at the fire.
- 

3 レバーを強く握る
Grip the levers.

支援を受けて

- ・日々のスキンケアの重要性を再認識出来た。
- ・褥瘡や創傷処置の際の手順や軟膏選択など学ぶことが出来た。
- ・スキンケアの基本が身についた。
- ・気切口周囲の洗浄は、行った事がなく汚れにより発赤やびらんが生じていたことが分かった。
- ・ポジショニングの意識付けや日頃からの皮膚状態の観察の重要性が身についた。
- ・皮膚状態をアセスメントしながら処置やケアをするようになった。
- ・軟膏の使用量や使用期間 ドレッシング材の使用方法が理解出来た。
- ・ケアについて再認識する機会になった。



今後の課題

- 1, スキン - テア フローチャートの周知、活用による統一化
- 2, 予防的スキンケアの継続
- 3, 皮膚・創部の状態をアセスメント出来る職員の育成